

旧鷹岡事務所の2階に

水質分析センターが完成

旧鷹岡事務所の2階を改造して、公害分析センターの設置を進めていきましたが、このほど完成し分析業務をはじめました。

これまで分析業務は、公害課に併設されていた分析室(40平方メートル)で行っていましたが、45年の490件を手はじめに、47年830件、49年1400件と年ごとに増加してきました。このように分析件数が多くなり、分析に必要な機器、薬品類なども増え、足の踏み場もないような状態でした。

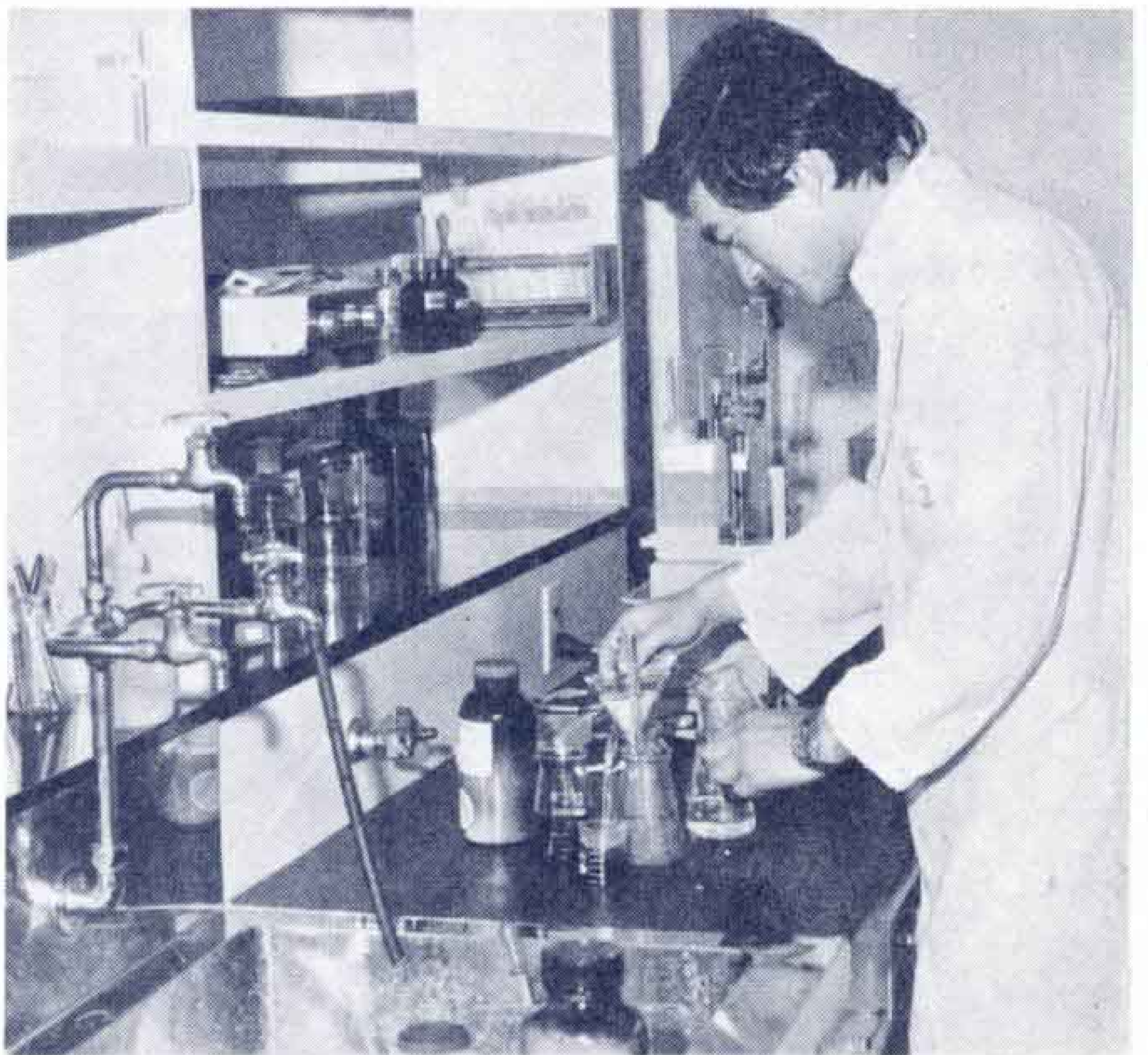
そこで、分析業務が効率よくできるようにセンターの設置となりましたが、約1600万円をかけて改造、新しい機器類の購入などを行いました。広さもこれまでの4倍の160平方メートルで一般分析室と機器分析室からなり、5台の実験台を備え、排ガス処理を行うドラフトチャンバー、汚水を一定の温度に保つ保冷庫、自動測定装置などを導入しました。

センターでは、水質、大気の公害全般にわたる分析を行います。機能を十分発揮し、市民の健康、都市環境を汚染から守り、住みよい町づくりを進めていきます。なお、分析業務は2人の専門職員が当たります。

富士市公害分析センター(入山瀬 電71-4860)



【排ガス処理を行うドラフトチャンバー】



【昨年1年間に1400検体を分析】

